



第 56 号

なでしこ通信

平成 27 年度 新春号

新春のあいさつ

静岡市里親家庭支援センター 理事長 眞子 義秋

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、皆様方のご協力ご支援をいただき有難うございました。

当里親家庭支援センターは開設以来6年目を迎えましたが、関係機関のご協力をいただき着実に前進しております。委託率も全国2位になったこともあり各方面から注目されておりますが、静岡市の取組みが全国に広がり里親支援機関がふえていくようになればと思っています。

今年も三本柱の「啓発」「研修」「相談・支援」をより充実させ里親家庭を積極的に支援して邁進する所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

本年も世界が平和で子ども達にとって明るい幸せな年になることを願っています。



静岡市里親会

会長 眞保 和彦

新しい年を迎えて皆さんはどのようなお気持ちで新しい年をお迎えになったのでしょうか。家族の幸せ、自分の健康の事、子どもたちの将来の事。その中でも、子どもたちの将来については特に思いが深いのではないのでしょうか。私たち里親がお預かりする子どもたちには、殊更幸せになってくれることを願わずにはられません。子どもたちのために私たち里親は見つめ、寄り添い、そして子どもたちのために柔軟に その養育を変え向上させていけるスキルを身につけることが必要です。

そのためにも、多くの里親仲間と繋がり、支援者の皆様の声に耳を傾け、子どもたちの幸せのために一緒に頑張っていきましょう。



各種表彰受賞者

静岡市社会福祉大会受賞者

- 平成 27 年 10 月 20 日 (火)
- 葵区 里父・里母

全国里親会会長表彰受賞者

- 平成 27 年 10 月 24 日 (土)
- 清水区 里父・里母

厚生労働大臣感謝状受賞者

- 平成 27 年 10 月 24 日 (土)
- 駿河区 里父・里母

受賞者の皆さん、
おめでとうございます。

特 集 普及啓発活動

1 出前講座

里親の皆さんにご協力をいただき、次のとおり、出前講座を開催しました。

里親さんの体験談に、受講者は皆、一言も聞き漏らすまいと神経を集中させて、聞いていました。

大学生の受講者が書いた感想文には、里親養育の素晴らしさや感動した気持ちが綴られていました。今年は、里母1名と里父1名が体験談デビューをしてくれました。

体験談の発表をしてくれた里親の皆様、本当にご苦労様でした！

回数	年月日	時間	種類	場所	普及先	従事者	参加者数
1	H27.6.24	14:00～	出前講座	竜南小学校	葵区民生委員	里親・センター職員	30名
2	H27.7.24	10:00～	出前講座	城東保健福祉センター	赤ちゃん声かけ支援検討会	里親・センター職員	15名
3	H27.8.6	10:50～ 12:10	出前講座	静岡福祉大学	心理学専攻学生 他	里親2名・センター職員	86名
4	H27.10.10	13:00～ 16:00	里親月間記念講演会	清水テルサ	一般	里親	146名
5	H27.10.28	18:30～ 20:30	静岡市職員研修	市庁舎17F	市職員	里親2名	9名
6	H27.10.30	13:30～ 15:30	出前講座	健康文化交流館「来・て・こ」	駿河区民児協児童福祉部会	里親・センター職員	76名
7	H27.11.20	9:00～ 16:10	出前講座	常葉大学短期大学部	保育科学生	里親2名・センター職員	200名
8	H27.12.7	14:25～ 15:55	出前講座	静岡大学	学生	里親・センター職員	35名

2 講演会

里親月間記念講演会

参加者 総勢 158 名（大人 130 名、子ども 28 名）
平成 27 年 10 月 10 日 清水テルサにて



☆ 里親体験談

本年度は養育経験のある方への普及啓発を目的に、子育て経験を持つベテラン里親さんに里親体験談を語っていただきました。

あらすじ

保育士として保育園に勤務中、児童養護施設へ入所することになった園児との出会いが社会的養護について考えるきっかけ。

現在養育中の中学生は7年前のショートルフランが始まりだった。

施設から家庭へ。生活の違いに戸惑いながら、お料理に興味を持ち、キッチンという「夢の国」を得て、少しずつ落ち着き始める。

生い立ちに対するジレンマや寂しさとの葛藤、赤ちゃん返りを通過しながら家庭生活や人との関わり、社会のルールを学んで行った。

思春期の今、別の意味でも心配は尽きないが、朗読された「おじちゃんおばちゃんへ」という作文には、里親夫妻への感謝と一緒に暮らせることの喜びがつつられていた。

里親さんは養育の傍ら、一時保護やレスパイト、季節のショートルフラン、新米里親さんの養育援助等、いろんな子ども達との出会いがあります。

「子ども達に育てられてきた里親人生です」と語られたのが印象的でした。

☆ 基調講演「イライラしない子育て」 汐見利幸氏（白梅学園）

子育てはいろいろな意味でイライラが“つきもの”。

里親養育は子どもの成長の途中から始まり、子どもの成育歴や特徴によっては難しさが増します。一般の子育ては里親養育に学ぶところが多くあるでしょう。

講演内容をサクッとご紹介します。



「子どものこころの発達過程」

《～2歳》甘えの手法を学ぶ。

うまくできないと「甘え方がわからない」人生になる可能性が多くなる。自分の願いを他者に満たしてもらえ「有能感」を感じ、こころが安定する。

《3歳から7歳》

親以外の親しい他者（親戚縁者、友達、幼・保育園の友達）の中の大切な一員であることを認識することで自己欲求と集団ルールの折り合いをつける練習をする時期である。

《学齡期前》

家のお手伝いをするなど役立っている充実感を味わうことで自身の存在意義を実感する。

《思春期以前》

「死」と言うもの恐怖に翻弄される。

《思春期まっ最中》

性的成熟を機に自分の行為の決定主体が親から自分自身であることを主張。反抗から親殺しに進展してしまうこともある悩み深い時期。

《青年期》

思春期の嵐が治まり心の安定が出てくる。将来のことはゆっくり決めても良いという保証が大切。これまでの育ちの集大成ともいえる。

～基本的なこころの発達保証されなかった里子への対応の養育～

- ① 欠けている部分は補いながら、“今”の課題をこなさなくてはならない。
- ② 子どもが里親を信頼するには時間ときっかけが必要。気長に信頼し、信頼される関係が成り立つのを待つ。
- ③ 甘えの経験が足りない子にはたっぷり甘えさせ、家庭で役立つことの充実感（お手伝いの感謝）の機会を提供する。
- ④ **星・海を見て感じて「イメージする」「考える」**チャンスを与える
- ⑤ **家族以外の人との関係作りを応援する。**

汐見先生は「砂の土台に建物を建てるような物。土台が固くなるまでは不安定なのは当たり前」と話されました。「里親養育は大変だけど、素晴らしいことをなさっている。誇りを持ってください。」と背中を押してくださいました。

☆ 里親なんでも相談コーナー

7名が相談に立ち寄られました。

里親制度説明会を開催し、新規里親申請につなげたいと思います。

3 里親相談コーナー

静岡県庁舎フロアでの里親制度相談コーナー開設



日時：10月5日（月）、6日（火）、7日（水） 10：00～15：00

啓発：パンフレット配布、展示、「夢がもてない」DVD視聴、本の紹介
相談コーナーの設置

スタッフ：里親会会長、里親相談員、ボランティアさん2名、事務局

☆ 市役所に訪れた市民に350部のパンフレットを配ることができました。

☆ 相談コーナーに足を運び、里親について話を聞いて下さった方も5名ありました。

4 一日里親体験会

気持ちの良い秋晴れの下、〈里親一日体験 みかん狩り〉が実施されました。今年度は7組14名が体験里親として参加していただき、当日は静岡ホームの子ども達とペアを組み一日を過ごしました。またモデル里親として6組の里親ファミリーにご参加いただきました。



児相多目的室での開会セレモニーの中、ドキドキの初対面。子ども以上におとなが緊張していたように思います。こどもたちはそれぞれのペアさんによばれると、元気いっぱい膝によじ登る子、恥ずかしそうに下を向いてしまっている子と様々な反応がみられましたが、いざ柑康園さんに到着するとすっかり打ち解け、みかんを口いっぱい頬張る姿がとても可愛らしかったです。今年のみかんは小ぶりながらとっても甘く豊作です。

午後からの時間は、〈安倍ごころ〉に場所を移し、お弁当を食べるや否や元気いっぱい駆け回る子ども達、それを追いかけて一緒にになって遊んでくれる体験里親さんでした。お別れの時には、お互いに名残惜しく涙がでてしまう場面もありましたが、こども達には今日一日を楽しい経験として、また体験里親さんには、ほんの少しでしたが里親について知る経験が今後の里親制度への理解に役立てていただければと思います。

アドバイザーの紹介

【アドバイザー相談日】

月曜日・水曜日

10時～12時 または 13時から15時



うるしばたみつとき
漆畑光時さん
元、静岡県児童
相談所長

現在週に2回出勤し、事務局や里親相談員会議でアドバイスをいただいています。このたび、里親さんの相談を受け付けていただけることになりました。ご希望の方は支援センターまで気楽にご連絡ください。

ボランティアの紹介

静岡市に在職中から里親さんのことを応援してくれたお二人が、今年から、当センターの里親ボランティアとして協力してくれています。

お二人からも、「里親さんを支援しているセンターのお手伝いが少しでもできればと思っています。私達も勉強して、皆さんのお役に立てるようになりたいです。」との言葉をいただきました。

力強い助っ人の参加で、益々、里親家庭の支援を充実していきたいと思っています。ボランティアの協力に感謝します。



青島加代子さん（左）
と伊澤律子さん（右）

里親さんからのイベント報告



11月22日(日) デンマーク牧場へ研修旅行

参加里親

ますます深まる秋を感じながら、磐田市のデンマーク牧場に総勢61人で行って来ました。まきばの家の松田園長先生の協力のもと、大自然中、みんなで楽しく交流することができました。

牛の話聞き、羊や牛とのふれあいを楽しんだ他、バター作りはしぼりたての生乳をシャカシャカ振って作りました。筋肉痛になりそう！と言いながら頑張ったバターの出来上がりは、今まで食べたことがないくらいの美味しさ(∩_∩) 参加者は「初めてやったけど楽しかった。」と大興奮でした。



動物や自然と触れ合うことで子ども達の五感を大いに刺激した一日でした。



10月25日(日)ロータリークラブ植樹とバーベキュー 参加里親

天気快晴の下、紅葉も美しく清々しい一日を過ごしてまいりました。

植樹祭では、里親さん達が段ボールで作った植木鉢と苗木を両手に、小さい子をおんぶするやら、恐がる子をなだめつつ手を引くやらで、4家族が協力しながらわっせわっせと登りました。ロータリークラブの方々が掘ってくれた穴に植樹してプレートと水をかけ、写真をとりました。どの里親さんも力があって元気で、自分の子だけでなくよその子の面倒もよくみてくれ、感心しました。

バーベキューは、ロータリークラブの方々がもう全部支度をして下さっていましたが、子ども達はお腹ペコペコ。子ども同士で仲良くなり、おむすび、焼肉、ウインナ、焼きそば、ジュースとごちそうを食べました。そのごちそうを食べるや否や、原っぱで遊ぶために飛び出していきました。同年齢の子ども達の家族がロータリークラブのお蔭で集うことができ、食べたり遊んだり、バスに乗ったりと一杯触れ合うことができ皆ご機嫌でした。

汗をかいた後は、お餅を食べて温泉でひとつ風呂。お土産に食べきれなかった山芋もいただいて帰りました。帰りのバスは皆スヤスヤ。楽しい楽しい一日でした。

里親にならなければ、こんな方とも知り合うこともなかったと得をした気分です。来年も来て下さいと言われました。



活 動 報 告



10月5日～7日	里親制度説明会	市役所新館にて	
10月9日(金)	ちびっこサロン	(安倍ごころ)	参加者 12人
10月10日(土)	里親月間記念講演会	清水テルサにて	参加者 158人(大人130人、子ども28人)
	「イライラしない子育て」	講師 汐見 稔幸氏	白梅学園大学長
	「私の里親ライフ」体験発表	里親	
10月14日(水)	相談員「傾聴」研修	児童相談所にて	
		講師 アクティブリスニング静岡	
10月24日～25日	全国里親大会	鹿児島県	参加者 4人
10月25日(日)	梅ヶ島温泉植樹とバーベキュー	主催 静岡西ロータリークラブ	参加者 17人
10月29日(木)	駿河区サロン	里親宅にて	参加者 16人
11月3日(火)	1日里親体験 みかん狩り	藤枝市岡部町にて	
	参加者 50人		
11月6日(金)	ちびっこサロン	護国神社	参加者 17人
11月10日(火)	養育里親更新研修	県中央児童相談所にて	参加者 4人
11月11日(水)	相談員「傾聴」研修	児童相談所にて	
		講師 アクティブリスニング静岡	
11月14日(土)	第7回児童虐待防止静岡の集い	もくせい会館にて	参加者 6名
	「子ども虐待を社会で防止する」		
	講師 和田 一郎(わだ いちろう)氏	母子愛育研究所	
11月18日(水)	スキルアップ研修	児童相談所にて	
	「こどもとあそび」		
	講師 松平千佳氏	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科	
	参加者 7人		
11月20日(金)	出前講座	静岡常葉短期大学にて	
	「養育体験談」	里親2名	
11月22日(日)	里親会 研修旅行	デンマーク牧場にて	
	参加者 61名		
11月26日(木)	清水区サロン	里親宅にて	参加者 17人
11月27日(金)	第1回 里親制度説明会	児童相談所にて	参加者 7人
12月9日(水)	スキルアップ研修	児童相談所にて	参加者 9人
	「こどもとあそび」		
	講師 松平千佳氏	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科	



12月18日(金)	第2回 里親家庭支援センター理事会	児童相談所にて
	乳児院懇談会	静岡乳児院にて
12月19日(土)	合同サロンクリスマス会	児童相談所にて
12月29日(火)～1月3日(日)	里親家庭支援センター	休業日



1月13日(水)	相談員「傾聴」研修	児童相談所にて 講師 アクティブリスニング静岡
1月16日(土)	中部地区里親研修会 「輝ける子に育てるために大人ができること」 講師 明橋大二氏 真生会富山病院 心療内科部長	藤枝市青島北公民館にて
1月19日(土)	里親会 第4回役員会	児童相談所にて
1月24日(日)	合同サロンもちつき大会	飯田生涯学習交流館にて
2月5日(金)	ちびっこサロン	児童相談所にて
2月23日(火)	葵区里親サロン	里親宅にて



今後の予定として、研修会・懇談会を計画しています。

最新情報

新たな子ども家庭福祉システム構築に向けて

児童虐待の発生予防から自立支援までの一連の児童福祉対策の更なる強化のために、9月に厚生労働省が設置した「新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会」は4回の協議を踏まえ、12月には「報告書」を公表します。そして、この報告書を受け、厚生労働省は、平成28年通常国会に児童福祉法の改正案を提出する予定です。

この報告書の中で、特に、里親支援に関連することだけでも、①児童の対象年齢の引上げ、②児童福祉法に家庭養育を原則とする規定を設けること、③特別養子縁組制度の見直し、④里親の名称を「養育家庭」や「養護家庭」に変更、⑤「里親支援機関事業」を当センターのような総合的な支援事業ができるよう（この報告書の中で、英国の「foster agency」とともに、「当センター」が取り上げられています。）「家庭養育事業（仮称）」に改め、「法定事業」として新たに創設、⑥児童相談所の機能の分化、⑦自立支援の見直しなど多岐にわたります。

また、このような社会的擁護制度の改革は、5年位をかけて段階的に行われるようです。

どんな児童福祉法改正案になるか、期待が高まる一方で、あまりにも大掛かりな改革で、当センターのあり方にも大きな影響を及ぼすことが想定されるため、その行方に十分注意を払っていく必要があると思っています。この問題については、機会をみて、今後も情報提供していきます。



職員一同、力を合わせて頑張っていきますので、今年もご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。児童相談所の近くに来られた時には、どうぞ、お気軽にお寄り下さい。お待ちしております。

NPO法人 **静岡市里親家庭支援センター**

〒420-0947 静岡市堤町914 番地の 417(静岡市児童相談所内)

TEL. 275-2252・FAX. 255-2052

担当者 望月 根生 トマジ

E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp